

各 位

会 社 名 エイケン工業株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 早馬 義光
 (JASDAQ コード : 7265)
 問 い 合 わ せ 先 取締役経営企画管理室長
 池田 文明
 (TEL 0537-86-3105)

平成21年10月期第2四半期累計期間業績予想、通期業績予想及び
 期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年12月12日に公表した業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成21年10月期第2四半期累計期間業績数値の修正 (平成20年11月1日～平成21年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想(A)	2,372	161	165	94	14	16
今回発表予想(B)	2,049	48	52	32	4	88
増減額(B-A)	△ 322	△ 113	△ 113	△ 61	—	
増減率(%)	△ 13.6%	△ 70.1%	△ 68.3%	△ 65.6%	—	
(ご参考)前第2四半期実績 (平成20年10月期第2四半期)	2,343	186	189	111	16	51

2. 第2四半期累計期間業績予想の修正理由

当第1四半期会計期間におけるわが国の経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融危機に伴う急激な円高及び株価の下落等が実体経済にも影響し、企業収益の大幅な減少及び雇用情勢の急速な悪化の要因となり、個人消費が大きく冷え込む状況となり、当社を取り巻く経営環境は一段と厳しさを増しました。

当第1四半期累計期間の実績及び今後とも厳しい経営環境が続くことを勘案し、第2四半期累計期間業績予想を修正いたします。

当社は、フィルター部門において国内では、景気の急速な悪化により、新車の生産用及び主にカーディーラーに供給しているフィルターメーカー（純正メーカー）の受注の増加を見込んでおりましたが、大幅に減少する見込みであることや同業者、カーショップ及びガソリンスタンド向けも減少傾向になっております。輸出では、急激な円高及び輸出相手国の景気の悪化で受注が大幅に減少する見込みであります。

このような状況のもと、売上高につきましては、20億49百万円（前回予想比3億22百万円減）となる見込みです。

営業利益につきましては、第2四半期会計期間の売上高は、第1四半期会計期間の売上高よりも1億23百万円減少する見込みであります。固定費（人件費及び減価償却費等）は大幅に減少することがないこと及び原材料価格の高止まりによる材料コストの上昇が要因となり、48百万円（前回予想比1億13百万円減）となる見込みです。

経常利益につきましては、営業利益の減少が要因となり、52百万円（前回予想比1億13百万円減）となる見込みです。

四半期純利益につきましては、経常利益の減少が要因となり、32百万円（前回予想比61百万円減）となる見込みです。

3. 平成21年10月期通期業績予想数値の修正（平成20年11月1日～平成21年10月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,874	367	379	216	32 53
今回発表予想(B)	4,001	39	52	32	4 86
増減額(B-A)	△ 872	△ 328	△ 327	△ 184	—
増減率(%)	△ 17.9%	△ 89.2%	△ 86.3%	△ 85.1%	—
(ご参考)前期実績 (平成20年10月期)	4,981	395	406	208	31 01

4. 通期業績予想の修正理由

通期業績予想につきましては、本資料1ページ「2. 第2四半期累計期間業績予想の修正理由」と同様の理由から、当第1四半期累計期間の実績及び今後とも厳しい経営環境が続くことを勘案し、通期業績予想を修正いたします。

売上高につきましては、40億1百万円（前回予想比8億72百万円減）となる見込みです。

営業利益につきましては、第41期下期の売上高は第2四半期累計期間の売上高よりも97百万円減少する見込みであります。固定費（人件費及び減価償却費等）は大幅に減少することがないこと及び原材料価格の高止まりによる材料コストの上昇が要因となり、39百万円（前回予想比3億28百万円減）となる見込みです。

経常利益につきましては、営業利益の減少が要因となり、52百万円（前回予想比3億27百万円減）となる見込みです。

当期純利益につきましては、経常利益の減少が要因となり、32百万円（前回予想比1億84百万円減）となる見込みです。

5. 配当予想修正

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題と位置付け、如何なる情勢下においても収益性の維持向上に努め、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。

しかしながら、上記業績予想の修正に伴い、当社1株当たりの期末配当金を15円00銭（年間配当金15円00銭）と発表しておりましたが、今回10円00銭（年間配当金10円00銭）と修正させていただきます。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	年 間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成20年12月12日発表)	— —	0 00	— —	15 00	15 00
今回修正予想	— —	0 00	— —	10 00	10 00
当期実績	— —	— —	— —	— —	— —
前期(平成20年10月期実績)	— —	0 00	— —	15 00	15 00

(注) 本資料に記載されている業績予想及び配当予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績及び配当等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上